

いま、きみは楽しく生きていますか。

この本は、そうでないと感じているきみに届けたいと思います。

なにか、自分らしくない、ほんとうは良い子でいたいののに、ついお母さんに乱暴な口をきいてしまう。「うるせえ、ばばあ」。

せっかく友だちができて、ほんとうは仲よくしたいのに、むかついて友だちにケリをいれてしまった……ごめん。

きみはけっして悪い子じゃない。

なぜイライラするのか、その理由を明らかにしたくないかい。理由がわかれば、お母さんに暴言を吐くこともなくなるし、友だちとも楽しく遊べる。

イライラしてしまう理由はいろいろあるけれども、大切なのは、きみや友だちが生まれながらに持っている人権、子どもの権利が守られていなかった場合だ。

子どもには自分らしく生きる権利がある。でも、親や先生、まわりに気を遣いすぎて自分が見えなくなる。

子どもにはしあわせな家庭ですごく権利がある。でも、親の口論で暗くなる。

子どもには安心して学ぶ権利がある。でも、学校でのいじめが辛い。

子どもには、平和で自然豊かな環境で生活する権利がある。でも、いくつもの争いがあり豊かな自然も失われてしまう。

そんなときに、この本を開いてみよう。きみにとって希望の光が見えてくると思うよ。

監修 喜多明人

もくじ

この本への招待…2

人権ってなんだろうーさまざまな人と出会い、ともに生きていくために…4

マンガ●もし、サポートの必要な人に出会ったら…6

高齢になると、どんなことが大変になるの？…8

日本国憲法 第13条 個人の尊重と生命・自由・幸福追求の権利…8

高齢者も生きがいのために働く…10

老人福祉法 第2条…10

キーワード 介護保険制度…11

障がいのある方へ、お手伝いしましょうか？…12

障害者権利条約 第19条 自立した生活および地域社会への包容…12

日本国憲法 第14条 法の下での平等…13

キーワード バリアフリーとユニバーサルデザイン…13

マンガ●ふつうってなんだろう？…14

ハンディキャップがあっても、大丈夫！…16

子どもの権利条約 第23条 障害のある子の権利…16

国籍のちがう友だちとともに① 言葉や食べるものがちがっても…18

子どもの権利条約 第2条 差別の禁止…18

国籍のちがう友だちとともに② 幼なじみは外国人…19

キーワード 国籍…19



国籍がないとこまるの？…20

子どもの権利条約 第7条 名前と国籍をもつ権利…21

被災地の子だからって、差別してはダメ！…22

子どもの権利条約 第17条 有益で適切な情報の入手…22

LGBTってなに？ みんなで学んでみよう！…24

キーワード LGBT…24

マンガ●子どもが戦争にまきこまれるなんて…26

世界から子ども兵士をなくそう！…28

子どもの権利条約 第38条 武力紛争のときに守られる権利…28

キーワード 子ども兵士…29

児童労働をなくすにはどうしたらいいの？…30

子どもの権利条約 第32条 搾取から守られる権利…30

キーワード フェアトレード…31

女の子だって、学校に行きたい…32

子どもの権利条約 第28条 教育を受ける権利…32

キーワード 武装グループ…33

わたしたちと地球の未来を奪わないで！…34

子どもの権利条約 第12条 子どもの意見の尊重…32

キーワード COP 24…35

ブックリスト…36

もっと知りたいとき…38 さくいん…39



LGBTってなに？ みんなで学んでみよう！

ともきくんは、おしゃれで優しい男の子。最近、なにか悩んでいたけれど、じつは、体育のとき男子と一しょに着がえるのがいやなんだと話してくれた。自分のことは女子だと思っているんだって。すごく苦しいって言うから、なんとかしてあげたいな。



みんな自分らしく生きる権利がある

多く人は、自分の体の性別の通りにそれをいやだと思わずに暮らしていける。でも中には、体は男性でも心では自分を女性としか思えない人もいます。逆に、体は女性でも心は男性と感じる人もいます。また、男の人を好きになる男の人や、女の人を好きになる女の人、男の人と女の人どちらも好きになる人もいます。このような性についての感じ方をする人は「セクシャルマイノリティ

(性的少数者)」また「LGBT」と呼ばれたりするよ。恋愛するのは男女の組み合わせがふうだと思っている人が多かったり、トイレや更衣室、制服なども男女で分けられていたりするから、セクシャルマイノリティの人たちはとても生きづらく、悲しい思いをたくさんしている。人にはいろいろなちがいがああり、性に対する感じ方のちがいもあって当たり前なんだ。そのことで、変な目で見られたり、差別をされたりすることはあってはならない。だれもが自分らしく生きられる社会になるように考えていきたいね。

キーワード

エルジーピーティー LGBT

レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシャル (Bisexual)、トランスジェンダー (Transgender) という4つの言葉の頭文字を並べた言葉。レズビアンは女の人を好きな女の人、ゲイは男の人を好きな男の人、バイセクシャルは女の人と男の人とも好きになる人、トランスジェンダーは体の性と心の性が一致しない人をいうよ。



考えてみよう！

- セクシャルマイノリティについて、どんなことを知っていて、どんなふうにも思っていた？
- セクシャルマイノリティの人はどんなとき、つらい気持ちになるだろう。



きみはどう考える？

性について、感じ方がみんなとちがって悩む友だちがいたら、どうすればいいだろう。

自分にはよくわからないから、打ち明けられたらびっくりしちゃうかもしれないけれど、わかるように努力したいし、友だちとして変わらずにいられたらいいなと思う。

気持ちを打ち明けるのは、とっても勇気がいると思う。話してくれたら、言いふらしたり、からかったりしたら絶対にダメだよ。ひみつを守るよ。

なんとかしてあげたい！ たとえば、そういう子は、保健室で着がえるのを許可してもらおうとか。でも、そうするには、みんなにも理解してもらう必要があるよね。みんなに知られるのって、いやじゃないかな。

なんとなく気づいても、その子がかくしていたいなら、あれこれ聞かない方がいいのかなって思う。

そういうのって、頭のかたい親はなにを言うかもしれないけど、だからこそ友だちの間ではわかってあげたいし、相談にのりたいな。

セクシャルマイノリティに対する社会の取り組み

セクシャルマイノリティを理解し、安心して暮らせるように助けようという取り組みは、現在、あちこちでおこなわれている。心の性に合わせた服を着ることができたり、更衣室やトイレ	レの場所を工夫したりする学校も増えてきた。同性のカップルが結婚できる国も増えていて、日本でも「結婚に相当する関係」とみとめる同性パートナーシップ制度が広がっているよ。
--	---

女の子だって、学校に行きたい

学校で、自分の読んだ本についての意見を発表する授業をやった。あたしのクラスは、最年少でノーベル平和賞を授与されたマララ・ユスフザイさんの本をえらんだよ。マララさんの勇気ある行動に、感動で胸がふるえたよ。



教育こそが世界を変える

2012年10月9日、パキスタン北西部に暮らす15歳の少女、マララ・ユスフザイさんは、スクールバスで下校途中に、武装グループに銃で撃たれた。マララさんが、女子校を破壊する活動をおこなっていた武装グループを告発したからだ。グループは、女の子に教育は必要ないという考えで、従わない人びとを容赦なくおそった。でも、マララさんは銃撃されても屈することなく、女の子にも教育が必要なこと、教育を受ける権利があることなどをうたったえつづけた。



女の子の就学率（学校に通っている割合）の低さはパキスタンだけの話ではなく、東南アジアやアフリカ諸国などでもあちこちに見られるんだ。そのため、このことに世界中が関心をもち、翌年、マララさんは国連でスピーチをおこなった。教育こそが、貧困に苦しむ人や学校にも通えない子どもを救い、世界を変えることができるということをおこなった。たとえ子どもでも、こうして声をあげて、世界中の人たちに広がって共感を呼ぶことがある。それが問題を解決する第一歩になるかもしれないんだ。



考えてみよう！

- もし、学校へ行くのを禁止されたら、どうする？
- もし、あなたがマララさんなら、どう行動する？

子どもの権利条約

第28条 教育を受ける権利

すべての子どもには教育を受ける権利があり、子どもが求める教育への門戸が平等に開かれ、利用することができる。

もっと知りたいとき

『マララの物語 わたしは学校で学びたい』

文/レベッカ・L・ジョージ
絵/ジャンナ・ボック
訳/西田佳子
発行/西村書店



マララさんの子ども時代からノーベル平和賞を受賞するまでをえがいた伝記絵本。

『武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り』

著/ヴィヴィアナ・マツツア
訳/横山千里
発行/金の星社



マララさんの現在までの活動を記した本。国連スピーチ抄録掲載。

みんなで話そう！

きみはどう考える？

もし自分が、マララさんのような境遇だったら、どう感じる？
世界中の子どもが教育を受けられるようにするには、どうしたらいいと思う？



女の子には教育はいらないなんて、ひどい差別だと思うな。そんなこと言われたら納得できないし、従わないと暴力にうたてるなんて、絶対まちがっていると思う。

学校のない場所に生まれた子どもが教育を受けられるように、わたしたちでも協力できることってないかな。途上国への日本の支援はどうなっているのか、調べてみたいな。



学校に通えなかったら、わからないことが多くて、おとなになってからこまりそう。宿題や勉強を一生懸命やって、先生になって、学校のない場所の子たちに勉強を教えてあげたりしたいな。



昔日本でも、女の子は上の学校まで行かなくてもいいと言われていた時代があったんだって。男女で分けるなんて納得がいかないな。



勉強するためのえんぴつとかノートとか、勉強に役に立つものを送ってあげたりしたら、少しは助けになるのかな？



キーワード

武装グループ

政府や軍隊などと対立し、武装して戦いを繰り広げる勢力のこと。一般の人びとに対しても、武力で言うことを聞かせようとする。